## たつみコータロー参議院議員、党茨木市議団を先頭に

## 国政ではリニア新幹線、高速道路、戦略港湾など
## 大阪府政ではカジノインフラ、淀川左岸線２期など
## 茨木市政では彩都民間東部開発、安威川ダム関連整備など

# ムダな公共事業のばらまきを許さない
# 茨木市民集会を開催

安倍内閣打倒とムダな公共事業は
許さないと訴えるたつみコータロー議員

２０１４年度の国の公共事業費関係費は１３年度補正額を加えると約７．８兆円と自公政権の復活により大きな伸びを示していること。とりわけ３大都市圏環状道路、国際コンテナ戦略港湾整備、首都圏空港、整備新幹線などが突出していること。一方、老朽化が進む地方自治体管理の橋梁、道路、下水道などの維持管理や更新の予算は公共事業費全体の４分の１程度で大規模公共事業との比率を思い切って変える必要があることを訴えました。とくに北米航路のコンテナ貨物量は京浜港でも阪神港でも目標と実績が大きく乖離しているにもかかわらず、１０年間で５５００億円投入している事実を告発しました。またリニア新幹線も生産年齢の激減が予測される中での環境破壊や残土処分、活断層などの問題は解明されていないと訴えました。最後に久々の党参議院国土交通委員会所属議員としての責任を果たしたいと決意を語りました。

## 党市会議員団が乱開発と多額の税金投入必至の
## 彩都民間東部開発中止と里山自然公園建設を求める署名運動を提案

ＵＲ（旧公団）「都市再生機構」は彩都事業の内、東部地区（３６７ヘクタール甲子園球場９０ヵ所分）は採算がとれないとして開発から撤退しました。今、この地区のほとんどの土地を所有している企業は地区を８分割して開発計画を進めようとしていますが、道路等インフラ整備でも、造成方法でも、町全体の一体性でも乱開発になるのは必至であり、しかも多額の税金投入をあてにしています。この機会に貴重な里山を保全して、自然公園など緑豊かな自然環境を残す方策を検討すべきです。よって中部地区、西部地区の街づくりと合わせて請願署名に取り組む報告と提案を行いました。

IBARAKI GREENWAVENEWS No.8 TEL072-624-5461

大阪府茨木北部丘陵地域の自然を守る市民会議http://ibaraki-saito.sakura.ne.jp